

## なかはく年間テーマは「大耶馬溪博覧会」

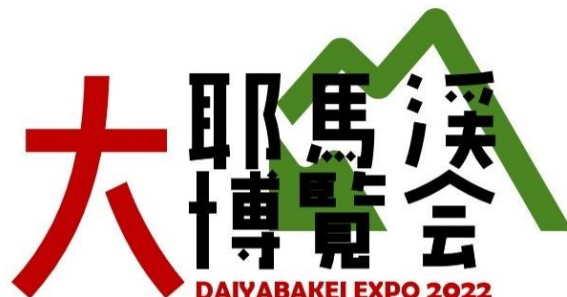
担当：歴史博物館 高崎（電話 0979-23-8615）

耶馬溪は大正12年（1923）3月7日に国指定名勝に指定され、来年、100年を迎えます。

なかはくでは、1年をかけて奇岩の溪谷「耶馬溪」に刻まれた物語を展示で表現します。

名付けて「大耶馬溪博覧会」。

ゴールの令和5年3月を目指して、様々な展示を展開し、耶馬溪の魅力を掘り下げます。100年目の誕生日を迎える頃、先人からバトンを受け継いだ私達が目指すべき道がきっとみえてくるはずです。



### 大耶馬溪博覧会 展示予定

「やばのみほとけ」令和4年4月20日（水）～6月5日（日）

古代から近世に至るまで、耶馬溪に祀られてきた神仏を一同に展示し、聖地としての耶馬溪を見つめなおします。

「粉洞穴と縄文の人生」令和4年7月9日（土）～8月21日（日）

縄文人骨68体が出土した稀有な遺跡「粉洞穴」を再評価します。また、「赤ちゃん土偶」など貴重な資料をもとに縄文人の人生を紹介します。

「戦国中津の城といくさ（仮）」令和4年9月23日（金）～11月6日（日）

戦国時代から近世初頭という激動の時代を生き抜いた領主たちの姿を中近世城館調査の成果をもとに紹介します。

「なかつ南画万華鏡（仮）」令和4年11月19日（土）～令和5年1月15日（日）

正行寺の僧雲華の作品を中心に、田能村竹田らによる豊後南画や南画のもととなった南宋画等中国伝来の絵画を展示し、南画の魅力を紹介します。

「岩石の王国－100年前のやばけい遊覧－」令和5年1月21日（土）～3月12日（日）

100年前、耶馬溪はなぜ国の名勝となったのか。明治～大正～昭和初期、一大観光地「耶馬溪」をつくりあげた人々を追います。\*不滅の福澤プロジェクト事業